

# 大洲市12月定例議会

## ～日本共産党 梅木かづこの議会報告～

### ○3歳児保育について

3歳児保育はその後どのように検討されましたか。認定子ども園の検討を言われていましたが、具体的な方向性はいつ頃出ますか。空き教室待ちではいつまでもできないのではの声です。

**<答弁>** 大洲私立幼稚園における3歳児保育は、平成27年度からの河辺幼稚園での実施に加え、『大洲市子ども・子育て支援事業計画』における需要量の推計値をもとに、平成28年度から大洲幼稚園でも実施している。大洲市立幼稚園の今後のあり方については、認定子ども園への移行も含めて検討協議を進めており、平成30年度における取り組みは

- ① 3歳児保育など近年新たに実施した事業は、現状のまま実施し、これらの事業の検証により、成果、課題を明確にして、『認定子ども園への移行の検討』につなげていく。
- ② 在園児の保護者から要望の多い保育時間の延長は、大洲幼稚園、喜多幼稚園において、試行的に午後3時まで延長を実施すること。肱川幼稚園については、保護者からの要望もあり、現在、バス待ちの園児を預かっていることから、他の園児も同様に午後3時まで預かることとした。

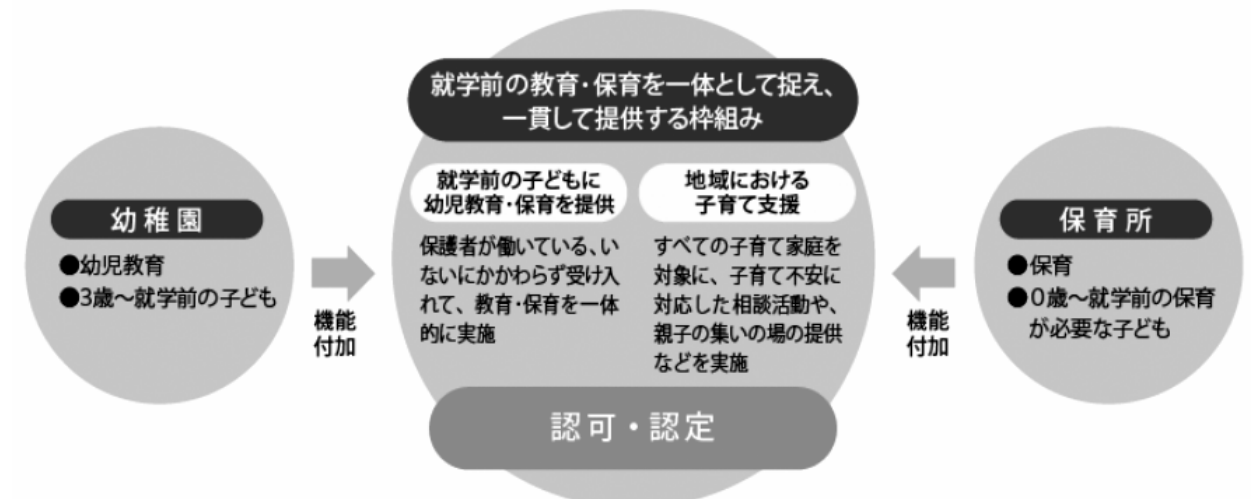
一方、認定子ども園への移行の検討については、保育所での『待機児童』、幼稚園での『園児数の減少』など、それぞれの課題を一体的に解消するための施策を検討している。

大洲市立幼稚園における3歳児保育の拡充など、子育て支援策については、来年度予定している『第2期大洲市子ども・子育て支援事業計画』のアンケート調査において、保護者のニーズを調査し、今後必要な需要量を見込んだ上で、施設・整備、職員配置、事業費・財源などを総合的に勘案し、この計画の中に位置づけしていく。

### 認定子ども園とは（内閣府ホームページより抜粋）

教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。以下の機能を備え、認定基準を満たす施設は、都道府県等から認定を受けることができます。

- 1 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能  
(保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能)
- 2 地域における子育て支援を行う機能  
(すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能)



### 平成29年度 児童クラブの入会状況です

各児童クラブには定員に空きがあります。ご利用下さい。また、ご利用になっての声もお聞かせ下さい。

児童クラブ名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
喜多	24	24	11	0	0	0	59
大洲	13	17	10	4	0	0	44
平	12	12	4	1	0	0	29
粟津	6	2	2	0	2	0	12
長浜	13	11	6	2	3	1	36
肱川	6	2	0	2	0	0	10
新谷	13	10	10	0	0	0	33
菅田	10	13	6	1	1	1	32
久米	5	17	8	2	0	0	32
平野	6	5	2	1	0	0	14
河辺	0	0	0	0	0	0	0
合計	108	113	59	13	6	2	301